

## 国際セミナーのご案内

演題 米国における PFAS 問題への取組み状況

演者 バリー・ライナー氏 (Barry Liner, WEF チーフテクニカルオフィサー)

日時 令和 5 年 8 月 2 日 (水) 15 時 20 分～17 時 30 分

場所 札幌コンベンションセンター207 号室(オンライン併用)

主催: 日本下水道協会国際課

言語 英語(逐次通訳あり)

対面聴講対象者 GCUS 会員、下水道協会会員、下水道研究発表会登録者(120 人まで)

オンライン聴講者 どなたでも受け付けます。但し 500 人まで

聴講料 無料

概要 市民、国、自治体、産業界において、永遠の化学物質といわれている PFAS に対する懸念が高まっている。本講演では、米国における課題認識、EPA(環境保護庁)が新たに設定した水道水質基準、それを踏まえた下水道、特に汚泥の農業用再利用に対する規制の方向性について紹介する。さらに、コンタミの影響を受けやすい PFAS のサンプリング及び分析方法についての米国での取組み状況を紹介する。

### バリー・ライナー氏の主な経歴

職歴: 計測機メーカー、政府系コンサルタント、世界銀行、エンジニアリング企業、ジョージメイソン大学国際工学科准教授、開発教育コンサルタントなどを経て 2010 年より現職

学歴: バージニア工科大学経済学士、ジョージメイソン大学都市システム工学修士、ジョージメイソン大学博士(持続可能な水資源)

当日は概ね 1 時間程度の講演後、1 時間程度のディスカッションを予定しています。ディスカッションには演者以外の米国の専門家も加わる予定です。

質問の受付は対面聴講の方を優先させていただきます。

聴講を希望される方は、件名を「国際セミナー聴講希望」とし、①お名前、②ご所属、③対面聴講かオンライン聴講かの選択、④メールアドレスを明記し、[kokusai@ngsk.or.jp](mailto:kokusai@ngsk.or.jp) まで、メールでご連絡下さい。聴講の受付は先着順とし、受付完了は返信メールでお知らせします。

問い合わせ先: 松宮(03-6206-0289)